

歴史 活動例C 「幕藩体制の成立」

(1) 学習単元と具体的な学習内容

学習単元：内容（4）ウ

○江戸幕府の成立と鎖国政策

具体的な学習内容

○幕府と藩の体制 ○身分制度の確立

(2) 目標

①社会科としての目標

- ・資料をもとに幕藩体制や身分制度について知り、幕府が大名に藩の政治に責任を負わせたことや、農民が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気付かせる。

②身に付けさせたいスキル

- ・江戸時代の幕藩体制の地図や鎖国時代の地図から、統治の特徴を読み取るスキル。
- ・参勤交代や農村の生活の図版などから、当時の社会の状況をイメージするスキル。

③身に付けさせたい日本語のスキル

- ・幕藩体制に関する語彙を使って地図や図版等の資料から読み取ったことを表現するスキル。
- ・資料から読み取ったことをもとに、江戸時代の諸政策に関する簡単な文章を読んで理解するスキル。

(3) 対象とする生徒のイメージ

経験知識	出身国の通史については学習している。日本の歴史についてはほとんど知らない。日本地図に関しては、これまで何度か簡単な作業をしたことがある。
日本語力	日常や学習の場面での会話はなんとかでき、読み書きもなんとかできる。ただし、漢字については、小学3年生レベルの漢字が読める程度である。

(4) 学習の流れと参加支援の例（全体の時間数 7時間程度）

	在籍学級における学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つかむ	①家康が江戸幕府を開き、260年の安定した時代になったことを理解し、江戸時代が長く続いたことに関心を持つ。	○時代を長い順に並べさせ、江戸時代が安定していたことを理解させる（特に安土桃山時代との比較で）。
まとめ	②幕藩体制について、直轄地と親藩・譜代・外様大名の配置や、五街道と関所の役割等を中心に、大まかにとらえる。	○大名配置地図で藩別に塗り分ける作業を行い、幕府の藩の統制の仕方を理解させる。
る	③図版を基に江戸時代の農民の暮らしを具体的にイメージし、身分制度による統制の存在を知る。	○農民と武士や町人の暮らしを図版資料で比べて、その違いに気付かせる。

ひ ろ げ る	④地図や年表資料を利用して、朱印船貿易や 欧州諸国との交易が江戸幕府にとって、ど のような利益と不利益をもたらしたのかを 理解し、江戸幕府が鎖国を選択することにな った理由を知る。	○交易相手の東アジア都市の写真等を見 て話し合い、それを地図に貼り朱印船貿易 の状況を理解させる。 ○踏絵の資料を見て、どう使われたか 話し合わせ、キリスト教が禁じられたこと を知らせる。
発 信 す る	⑤江戸幕府の諸政策が、政治の安定にと つてどのような効果があったのかをまとめ、 レポートを作成する。	○一つの政策を選択させて、それに関 連する資料の読み取りを中心に、レポ ートを書かせる。 ○母語でなら書けると言う場合は、母 語でのレポート作成を進める。

※網掛け：(5)指導案で示す授業

(5) 指導案

① 本時の目標

大名配置の地図を読み取る活動や幕藩体制に関する簡単な文章を読む活動を通して、
大名の種類や配置の仕方、幕藩体制の特徴をおおよそ理解できる。

② 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点、★教材	○日本語支援 (種類)
導 入	①大名配置図を見 て色分けの 意味について 考える。	・地図の色分けから直轄地や大名の種 類があることに気付かせる。 ・最後にその呼び名 (直轄地/親藩/ 譜代/外様) を知らせる。 ★大名配置地図 ★大名の種類のカード	○大名配置地図上で重要な都 市を確認する。【理解】 ○色分けの意味を「徳川の親 戚は何色? 味方は? 関ヶ原 で戦った相手は?」など問 いかけて考えさせる。 【理解・表現】 ○直轄地、大名の種類をカー ドで示す。【表現・記憶】
展 開	②幕府が交通、 経済の要所を 独占できるよ うに大名配置 をしていたこ とに気付く。	・地図を見ながら、江戸や主要都市か らの距離、鉾山や五街道の敷設状況 から、配置の特徴を読み取らせる。 ・各々に大名配置地図に五街道と主な 関所、主たる鉾山を書き加えさせ、 作業を通して理解を深めさせる。 ・大名配置の特徴を吹き出しに書かせ、 地図に貼り付けさせる。 ★生徒用の配置地図	○具体的な質問で読み取りの ポイントを示唆する。 【理解・表現】→問いかけ・ 応答の例を参照 ○鉾山、関所、領地など、理 解が難しいことばは易しく 言い換えて伝える。【理解】 ○書く前に口頭でまとめさせ、 必要に応じ適切な表現を示 す。【表現・情意】
ま と め	③江戸時代の幕 藩体制に関す る簡単な文章	・黙読させた後、資料を利用しながら 読んで聞かせる。 ・内容について具体的に質問し、理解	○ここまでで学んだ語彙や表 現(読み仮名有り)をカード で示しておく。【理解・記憶】

<p>を読み、理解したことを関連づけて整理する。</p>	<p>を促す。 ★幕藩体制に関する簡単な文章</p>	<p>○質問に対する答えは、まず文章に下線を引かせ、そこを読んで答えさせる。 【情意】</p>
------------------------------	--------------------------------	---

＜キーワード＞徳川家康、江戸幕府、藩、領地、直轄地、親藩・譜代・外様大名、
鋤山、街道と関所

（6）教材・教具、問いかけ・応答の例

①問いかけ、応答の例

<p>T：幕府は、どんなところを直轄地にしたと思いますか。 S：うーん、大きい町とか・・・ T：じゃあ、大事な、重要な都市はどこですか？ S：京都とか、大阪とか、名古屋とか・・・ T：ほかには奈良や長崎も大事な都市だよ、地図で、調べてみよう。京都、大阪、名古屋は何色になっていますか？直轄地ですか。それとも、親藩？譜代？外様？ S：ピンクだから・・・ちょ・・・、あれ（黒板の「直轄地」のカードを指さす） T：そうだね、ピンクだから、直轄地だね。分かったね、幕府はどんな所を直轄地にしたのですか？ S：大事な都市です。 T：そう、重要な都市を直轄地にしていました。</p>

②大名の配置地図と直轄地や大名のシート

＜大名の配置地図＞

（各社の教科書にある大名配置図を、次のように加工して利用する）

○簡略化、ルビ入り、含める情報：幕府直轄地・親藩・譜代・外様を色分けしてあるもの。

- ・地図のみとし、凡例を取る。・主要都市として、江戸、大坂、京都、奈良、長崎と、御三家の水戸、名古屋、和歌山のみを残し、それ以外の都市は削除する。
- ・全体で見るための大きく拡大してみせるものと、個々の作業で使うものを用意する。

<大名の種類のシート>

黒板に貼りだして、導入段階のやり取りの中で、()内を書き込む。

赤	・・・	(直轄地)
みどり		しんぼん
緑	・・・	(親藩大名・譜代大名)
あお		とざまだいみょう
青	・・・	(外様大名)

大名配置図を載せる
話し合っ て分か ったこ とを文 にして 書き込 ませ る。

③幕藩体制に関する簡単な文章（ワークシートとして利用）

○ルビ入り、重要な内容を厳選した、単純な構造の文で構成

幕府と藩

1、読みましょう。（声を出さずに読んでください。）

江戸幕府は、政治の力を高めるために、自分の家来にたくさんの領地を与えました。そして、重要な都市や主な鉱山を直轄地にしました。

将軍から領地をもらった武士を大名と呼びます。そして、大名の領地と政治組織のことを藩といいます。幕府は大名を親藩、譜代、外様にわけて配置しました。親藩とは、徳川家の親戚の大名のことです。譜代とは、古くから徳川家の家来だった大名のことです。そして、外様とは、関ヶ原の戦いまでは、徳川の敵だった大名のことです。

政治や経済の中心の都市は、直轄地か、親藩大名や譜代大名の領地にしました。江戸を中心にした道路（街道）を整備して、関所をおきました。そこも、直轄地か親藩や譜代大名の領地にしました。外様大名は東北や九州、四国、中国や北陸地方の、中央から遠い場所に配置されました。幕府は大名から領地を取り上げたり、領地をかえたりする力をもっていました。

また、幕府の重要な仕事は、譜代大名と将軍の家来が行っていました。

江戸幕府は、このようにして幕藩体制で力を強めていきました。

2、先生が読みますから、聞いてください。

3、先生の質問を聞いて、答えの文の下に線を引きましょう。

4、おもしろいなあと思ったところを、線で囲みましょう。

